

(案)

建設工事請負契約書

- 1 工 事 名 吉野川上流地区 白川復旧治山工事（翌債）
- 2 工 事 場 所 徳島県 三好市 山城町白川
- 3 工 期 令和 年 月 日 から
令和 9 年 6 月 30 日 まで
- 4 工事を施工しない日
工事を施工しない時間帯
- 5 請 負 代 金 額
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額
- 6 契約保証金額 請負代金額の10分の 1以上
- 7 前 金 払 請負代金額の10分の 4以内
- 8 あっせん又は調停を行う建設工事紛争審査会
〔 〕 建設工事紛争審査会
- 9 選 択 条 項 別冊約款中選択される条項は次のとおりであるが、そのうち
適用されるものは(○印)、削除されるものは(×印)である。

適用削除の区分	選 択 事 項	選 択 条 項
	契約保証金の納付	第 4 条第 1 項第 1 号
	契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供	第 4 条第 1 項第 2 号
	銀行、発注者が確実と認める金融機関又は保証事業会社の保証	第 4 条第 1 項第 3 号
	公共工事履行保証証券による保証	第 4 条第 1 項第 4 号
	履行保証保険契約の締結	第 4 条第 1 項第 5 号
	〔 〕 主任技術者	第 1 0 条第 1 項第 2 号
	〔 〕 監理技術者	第 1 0 条第 1 項第 2 号
×	支給材料及び貸与品	第 1 5 条
	前金払	第 3 5 条第 1 項
	中間前金払	第 3 5 条第 5 項
	部分払 回以内	第 3 8 条
×	部分払の対象となる工場製品	第 3 8 条
×	国庫債務負担行為に係る契約の特則	第 4 0 条

[注] 国庫債務負担行為に係る契約にあつては、別紙 1 を添付する。

10 解体工事に要する費用等 別紙3のとおり

11 建設発生土の搬出先については、現場説明書に定めるとおり。

なお、この工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。

上記の工事について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び令和 8年 8月 5日に交付した国有林野事業工事請負契約約款によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、受注者が共同企業体を結成している場合には、受注者は、別紙の共同企業体協定書により契約書記載の工事を共同連帯して請け負う。

【紙契約方式の場合】

本契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自1通を保有する。

【電子契約システムの場合】

この契約書の締結の証として、本文書に対し発注者及び受注者が署名を行ったものを本システムで保存し、長期に渡って当該契約の成立及び内容を立証する。

令和 年 月 日

発注者（住所） 高知県長岡郡本山町本山850

（氏名） 分任支出負担行為担当官

嶺北森林管理署長 牧尾 幸之助 印

受注者（住所）

（氏名）

別紙 3

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

1 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分 別 解 体 等 の 方 法
	① 仮設	仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	② 土工	土工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③ 基礎	基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④ 本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤ 本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥ その他 ()	その他の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

(注) 分別解体等の方法については、該当がない場合は記載の必要はない

2 解体工事に要する費用(直接工事費) _____円(税抜き)

(注) ・解体工事の場合のみ記載する。
・解体工事に伴う分別解体及び積込に要する費用とする。
・仮設費及び運搬費は含まない。

3 再資源化等をするための施設の名称及び所在地

建設資材廃棄物の種類	施 設 の 名 称	所 在 地
コンクリート殻(有筋)		

(注) 建設現場において再資源化する場合については、記載不要。

4 再資源化等に要する費用(直接工事費) _____円(税抜き)

(注) 運搬費を含む。

工 種 別 数 量 内 訳 書

工事名 吉野川上流地区白川復旧治山工事(翌債)

工事区分・工種・種別・細別	数量	単位	摘要
山腹工	1	式	
治山土工	1	式	
掘削工	1	式	
掘削(礫質土)	1,611	m3	
盛土工	1	式	
盛土(発生土)	376	m3	
流用土運搬	614	m3	
作業土工	1	式	
床掘り(礫質土)	438	m3	
埋戻し	24	m3	
掘削面整形	8.6	m2	
残土処理工	1	式	
運搬残土処理	1,213	m3	
産業廃棄物処理	1,213	m3	
山腹基礎工(No. 1土留工)	1	式	
場所打土留工	1	式	
コンクリート(土留工)	6.4	m3	
まく板型枠	20.4	m2	
一般型枠(小型構造物)	0.6	m2	
足場	8	m	
水抜パイプ	2.6	m	
裏込碎石	1.6	m3	
コルゲート半円管	2	m	
かご枠工	2	m	
かご土留工	1	式	
かご枠土留工	193	m	
水路工	1	式	
ポリエチレン管水路工	40	m	
集水柵工	1	式	
集水柵	1	箇所	
吹付工	1	式	
特殊配合モルタル吹付	352.2	m2	
山腹基礎工(No. 2土留工)	1	式	
場所打土留工	1	式	
コンクリート(土留工)	2.7	m3	
まく板型枠	10.5	m2	
一般型枠(小型構造物)	0.8	m2	
足場	4	m	
水抜パイプ	0.9	m	
裏込碎石	0.7	m3	
コルゲート半円管	1.5	m	
かご土留工	1	式	
かご枠土留工	72	m	

工 種 別 数 量 内 訳 書

工事名 吉野川上流地区白川復旧治山工事(翌債)

工事区分・工種・種別・細別	数量	単位	摘要
水路工	1	式	
ポリエチレン管水路工	21.4	m	
集水柵工	1	式	
水路受け柵	1	箇所	
山腹基礎工(No. 3土留工)	1	式	
場所打土留工	1	式	
コンクリート(土留工)	1.8	m3	
まく板型枠	7.6	m2	
一般型枠(小型構造物)	0.7	m2	
水抜パイプ	0.7	m	
裏込碎石	0.4	m3	
コルゲート半円管	1	m	
かご土留工	1	式	
かご枠土留工	75	m	
水路工	1	式	
ポリエチレン管水路工	21.6	m	
集水柵工	1	式	
水路受け柵	1	箇所	
山腹基礎工(No. 4土留工)	1	式	
場所打土留工	1	式	
コンクリート(土留工)	1.8	m3	
まく板型枠	7.6	m2	
一般型枠(小型構造物)	0.8	m2	
水抜パイプ	0.7	m	
裏込碎石	0.4	m3	
コルゲート半円管	1	m	
かご土留工	1	式	
かご枠土留工	33	m	
水路工	1	式	
ポリエチレン管水路工	23.5	m	
集水柵工	1	式	
水路受け柵	1	箇所	
山腹緑化工	1	式	
整地工	1	式	
斜面仕上げ	2,881	m2	
筋工	1	式	
丸太筋	290.4	m	
伏工	1	式	
植生マット	2,881	m2	
仮設工	1	式	
仮設工	1	式	
工事用道路工	1	式	
工事用道路盛土 仮設道	330	m3	

工 種 別 数 量 内 訳 書

工事名 吉野川上流地区白川復旧治山工事(翌債)

工事区分・工種・種別・細別	数量	単位	摘要
工事用道路盛土 工事用地	512	m3	
工事用道路掘削(土砂)	169	m3	
植生土のう筋	85.6	m	
植栽(B)	1	式	
コンクリート(土留工) 仮設道	6.6	m3	
コンクリート(土留工) 工事用地	5.9	m3	
まく板型枠	54.7	m2	
目地板	0.5	m2	
水抜パイプ	5	m	
裏込碎石	3.5	m3	
コンクリート舗装版切断・破砕	828	m2	
防塵壁撤去	132	m2	
落石防護柵撤去	66	m2	
ガードレール撤去	60.5	m	
土のう撤去	145	袋	
産業廃棄物運搬 コン殻(有筋)	124.2	m3	
産業廃棄物処理 コン殻(有筋)	310.5	t	
産業廃棄物運搬 廃プラスチック	2	回	
産業廃棄物処理 廃プラスチック	34.3	m3	
仮橋・作業構台工	1	式	
仮栈橋撤去工	1	式	
水替工	1	式	
ポンプ排水	5	日	
水替とい	80	m	
仮水路工	1	式	
仮設排水管撤去	59	m	
交通管理費	1	式	
交通誘導員	10	人	
直接工事費	1	式	
共通仮設費計	1	式	
共通仮設費(積上げ分計)	1	式	
運搬費	1	式	
役務費	1	式	
技術管理費	1	式	
共通仮設費(率計上)	1	式	
純工事費	1	式	
現場管理費	1	式	
工事原価	1	式	
一般管理費等	1	式	
一般管理費等計	1	式	
工事価格	1	式	
消費税相当額	1	式	
請負金額	1	式	